

このニュースは、毎月1回、以下の通り配信されています。

各都道府県石油組合および北海道・各地方石油組合宛
共同事業部会各委員および農林漁業部会各委員

全石連ホームページに「共同事業Gニュース」を常時掲載しています。
いつでもカラーで、過去号から最新号まで、ご覧いただけます。

「全石連」で検索 「石油広場 全石連ホームページ」
「組合員の皆様へ」 「組合員情報」 「共同事業Gニュース」
アドレスは <http://www.zensekiren.or.jp/> です。

主な内容は（お役立ち情報満載！）

購買事業の「新商品紹介」、主力商品の基礎知識
中型生命等の販売成功例、自家共済、保険の紹介と基礎知識
各種お知らせ
農林漁業A重油制度解説～事務手続きのポイント等 などです。

（目次）

1. 秋期キャンペーン（その3）

2. お知らせ

- (1) 中型生命グループ保険 23年度配当金を送金しました
- (2) SS総合共済の24年度満期更新状況
- (3) SS総合安心プランの支払案件が発生しました
- (4) 新商品のお知らせ
バッテリージャンプスターター
タイヤ空気圧チェックバルブ
灯油缶ベンチストッカー
災害救急セット
- (5) 共同事業インフォメーション（2012年秋号）を発行します
- (6) 贈答用タオルのご注文はお早めに
- (7) 灯油缶のケース個数について

農林漁業コーナー（温対税還付制度）

1. 秋期キャンペーン（その3）

キャンペーンがスタートして、約1ヵ月が経過しました。共同事業G資材チームの電話が普段の倍は鳴っています。やはり、皆さん良くご存知で、この期間の特別価格を利用して、多めに買って置こうということだと思います。洗車タオルも給油伝票も、SSの必要資材ですので、1円でも安く購入しておくというのは賢明な判断と存じます。

併せて、この機会に、中型生命や自家共済の加入も検討して頂けたらと願っております。従業員の方の福利厚生と、SSの経営リスクを補償するという観点で、是非、中型生命と自家共済（SS総合共済・賠償責任共済）のお薦めをお願いいたします。

共同事業グループ一同

2. お知らせ

(1) 中型生命グループ保険の23年度配当金を送金しました

（10月1日現在の加入者数は、8,741人です。）

中型生命グループ保険の23年度の収支計算の結果、発生した剰余分を、配当金として9月28日付で加入者の掛金引去り口座に送金手続きを取りました。

23年度は支払保険金が19件・6,000万円（22年度は27件・1億1,800万円）で例年に比べて少ない結果となり、諸経費を差し引いて残った約4,500万円を、掛金を基準に計算した配当金として分配しました。

10月からは、第一生命の支社を活用した既加入者への訪問活動が実質的に動き出すこととなります。キャンペーン期間中に一人でも多くの追加加入の獲得へのご協力をお願いいたします。

(2) SS総合共済の24年度満期更新状況

SS総合共済の24年度の継続加入状況は、対象となった3,128SSのうち、非継続が77SSとなり、3,051SSが継続加入という状況になっています。非継続の理由としては、SSの閉鎖や廃業のほかに割増掛金の高額化があげられています。

最近の自動車の高性能化、多機能化、部品や修理工賃の上昇によって修理費が高くなる傾向にあり、結果として割増掛金が加算された継続掛金が数十万円レベルになるケースがでています。こうした事態を踏まえて、掛金の設定ルールの検証の取り組みを開始しています。

SS総合共済は、その補償内容からみると、賠償事故を起こす頻度が少ないSSにとっては、最適な共済といえます。受託自動車保険やSS総合安心プランを組み合わせることで更に充実した補償内容を確保することができます。

賠償事故をカバーする保険には何も入っていないという組合員さんには、是非SS総合共済をお勧めください。

また、先月号でご案内した冊子「洗車クレームへの対応と防御」には、約120冊のご注文をいただきました。洗車クレームへの関心が高いことの現れであろうと思います。10月中にお届けできるよう手配をしています。

(3) S S総合安心プランの支払案件が発生しました

S S総合共済の補償範囲を拡大とする保険商品として提供している「S S総合安心プラン」には、223SSが加入されています。

今般、誤給油による故障で約80万円の修理費の支払いを求められた事故が発生したのですが、そのSSさんは安心プランに加入されていたので、SS総合共済からの支払額を超えた部分の約25万円(80万円 - SS総合免責5万円 - 共済金50万円)が安心プランから支払われました。

今回のSS総合共済の満期更新に当たって、安心プランに新規に加入されたのは24SSという結果でした。本会では、共済金の送金案内に安心プランのチラシを同封するなどしてPRに務めていますので、組合におかれましても前述の事例を話題にするなどしてPRにご協力をお願いします。

(4) 新商品のお知らせ

先般の共同事業部会において、次の4商品の斡旋開始が決定しましたので、ご紹介します。この中には一般に販売されている商品もあり、SSユーザーへの販売も期待できますので、リーズナブルな価格設定としています。

斡旋開始は10月1日を予定しておりますので、組合員さんへのご周知をお願いします。

なお、バッテリージャンプスターターは人気商品につき在庫不足となっているため、申し訳ありませんが、10月下旬からの出荷となります。

バッテリージャンプスターター

- ・車のバッテリー上がりにこの一台で簡単始動
- ・リチウムイオンバッテリー搭載で小型で軽量
(本体重量830g)
- ・フル充電で10~20回(台)始動可能(従来の鉛タイプは平均5回)
- ・充電方法は家庭用AC100Vアダプター(フル充電8時間)、車載DC12Vアダプター(同5時間)にて対応
- ・放電率が2%と低く、メンテナンスは4~6ヶ月に一度の補充電で使用可能
- ・作業時に便利なLED灯付き(フル充電で連続300時間点灯)
- ・携帯端末などへの充電用USB端子付き(スマートフォン5~6台分充電可能)
- ・+と-の電極を間違えて接続しても、ショートしない保護回路設計



(斡旋予定価格)

税別・送料込

	組合員価格(円)
乗用車用 (軽・3000ccまで)	21,080
軽自動車・二輪車用	16,830

タイヤ空気圧チェックバルブ

- ・既存のバルブキャップと交換するだけの簡単な作業で取り付け可能
- ・タイヤ空気圧が 20%減るとキャップにある緑のガイドが消えて警告するため、ひと目で空気圧状態が確認できる
- ・車の日常点検が苦手なドライバーへの店頭販売が期待できる
- ・SS従業員のエアチェック作業の負担を軽減
- ・日本郵政の配達用バイク 5 万台に採用済み



初回注文には店頭ディスプレイパネル付

(幹旋予定価格)

税別・送料込

指定空気圧	装着可能空気圧	組合員価格 (円)
175kpa(1.7k)	171kpa(1.75k) ~ 194kpa(1.9k)	注文単位 5 0 個 (5 タイプ 組合せ自由) 2 8 , 9 0 0 (@ 5 7 8)
195kpa(2.0k)	196kpa(2.0k) ~ 214kpa(2.15k)	
215kpa(2.2k)	216kpa(2.2k) ~ 240kpa(2.45k)	
245kpa(2.5k)	246kpa(2.5k) ~ 270kpa(2.75k)	
280kpa(2.9k)	281kpa(2.9k) ~ 300kpa(3.0k)	

灯油缶ベンチストッカー

- ・プラスチックブロー成形 (灯油缶と同じ製法) で、軽量かつ耐久性が高い
- ・18 灯油缶を 3 缶収納可能。緊急避難用グッズ入れとしての活用法もある
- ・玄関先に置いてベンチとしても活用可能
- ・ドライバー 1 本で簡単に組み立て可能
- ・神奈川県三崎漁協にて船に固定設置して漁具入れとして使用 (錆びない)



(幹旋予定価格) 税別・送料込 (但し、沖縄・離島は送料別途)

	組合員価格 (円)
灯油缶ベンチストッカー	9 , 6 0 0

災害救急セット

- ・災害備蓄用に不可欠な医療品をコンパクトにパック詰め

(セット内容 B001)

- 1)防護シート 2)三角巾 3)止血パッド付き包帯 4)マジカル包帯 5)傷手当セット(ガーゼ、絆創膏、清浄綿) 6)携帯型 LED ライト 7)抗菌マスク 8)不織布マスク (C001 には、別にガーゼ付包帯、サリユームライト、メディカルマスクがつく)

- ・止血パッド付き包帯は自衛隊で採用
- ・ODAによる救援物資として本採用（トンガ・モルデ
ィブ・パプアニューギニア・フィリピン4カ国向けに
1万セット提供）
- ・パックには日本赤十字社発行の冊子「救急法の基礎知
識」同梱（赤十字許可済み）
- ・災害対応型中核SSの備蓄用や車内常備の販売用とし
て最適



B001 のセット内

（斡旋予定価格） 税別・送料込 10セット単位

	組合員価格（円）
B001	35,000 (@3,500)
C001	75,000 (@7,500)

(5) 共同事業インフォメーション（2012年秋号）を発行します

「共同事業インフォメーション（2012年秋号）」を10月22日付けのぜんせき新聞に折りこんで組合員さんにお届けします。

キャンペーン特価のタオル、ロール紙を始め、ジャンプスターターなど新商品及び中型生命保険など共同事業全般の商品案内となっています。

「共同事業インフォメーション（2012年秋号）」をご活用いただき、キャンペーン期間中の利用促進につなげて下さい。

(6) 贈答用タオルのご注文はお早めに

年末年始のご挨拶用としてご好評いただいております贈答用タオルですが、年末に近くになると工場繁忙期のため、ご注文から納品まで1ヶ月近くかかる場合がございます。

年末用に贈答用タオルをお考えの組合員さんには、11月初旬までにご注文いただければ通常納期の3週間程度で納品できますので、早目のご注文をお奨めいたします。

また、来年の干支（へび）をデザインした干支タオルもご用意しておりますので、ご用命は共同事業グループ資材チームまでお願いいたします。

(7) 灯油缶のケース個数について

8月20日付連絡文書（全石協事発24第98号）にてご連絡したとおり、18・20灯油缶の注文単位は、1ケース8個（以前は1ケース6個）となっていますので、ご留意下さい。

本格的な灯油シーズンに入ると灯油缶の品不足が予想されますので、お早めにご準備されてはいかがでしょうか。

温対税還付制度が始まります

10月1日より石油石炭税が250円/kl増税されます。その増税分の250円/klは、「地球温暖化対策のための税」(温対税)として石油石炭税に上乗せ(増税)され、現行の2,040円/klが2,290円/klになります。

この増税は、原油・石油製品の場合、以下のように段階的に行なわれます。

(税額:klあたり)

	原油・ 石油製品	増税額
現 行	2,040円	
平成24年10月1日以降	2,290円	250円
平成26年4月1日以降	2,540円	250円
平成28年4月1日以降	2,800円	260円
最終増税額		760円

従来の農林漁業用国産A重油や無税重油は増額され税額が変わっても、新しい税額が還付や無税の対象となり、登録業者や石油組合の事務手続き等はなんら変わりありません。

一方、新たに還付制度が創設される**農林漁業用軽油**や**海運用燃油**、鉄道事業に利用される軽油、国内定期運送事業用航空機に積み込まれる航空機燃料などは、**増税された温対税部分のみが還付の対象**になることとなりました。

これらの内、**農林漁業用軽油**と**海運用燃油**の還付制度については、全石連と石油組合を通じたスキームで行なうことになっており、上記燃料油を販売している石油販売業者並びに全石連・石油組合においても協力をすることが求められています。

そのため、石油販売業者並びに石油組合にお願いする作業等について、今後内容が固まり次第連絡をしていく予定です。

温対税還付制度 登録のお願い

既に組合宛に連絡済みですが、温対税の還付制度対象油種(農林漁業用軽油・海運用燃油)を取り扱う販売業者は、事業者登録が必要となりますので、石油組合に登録手続きをしてもらうこととなります。

既に国Aの登録がある販売業者には同じ番号を付与する予定ですが、登録は改めてそれぞれ必要となります。

お忙しいところ恐縮ですが、対象油種を取り扱う販売業者の方へのご案内方よろしくお願いたします。